



笹中だより

伊丹市立笹原中学校 学校通信
第5号 令和元年 9月 9日
編集責任者 校長 菰口太志

1 学期 終業式 8月 31日 ~「ZOOM」の利用①~



(3年生実力テストの様子)

今年度1学期の終業式は、コロナの関係で、全校生が一度に体育館に集まることができないのと、熱中症対策としても、冷房の効く教室が適しているということで、ZOOMという便利なツールを使って、校長室よりお話しをお届けしました。以下は、その内容です。

さて、いよいよ、今日で1学期が終わります。といっても、例年のように明日から夏休みになるわけではなく、明日からもう2学期です。今年は、コロナの関係で、とても短い夏休みになり、おまけに、週に2~3日は、7校時まで授業があり、部活動の大会やコンクールもなくなり、授業も給食も前を向いたままの状態が多くなり

本当に、不自由さや制約、あるいは、不満を感じたのではないのでしょうか？
私自身は、人間ができていないので、不満ばかりを毎日ブツブツ言っていた気がします。そんな時、ある本を読んでいると、次のようなことが書いてありました。

人間には、大きく2通り合って、「**不自由**」や「**制限**」がかかった時に、世の中が悪い、あの人が悪い、コロナが悪い・・・等と「**不平・不満**」ばかり言って、場合によっては、人を攻撃するような人。

もう一つのタイプは、不自由なことや制限がかかった時に、それを受け入れ、だったらどうしたら、うまくいくのか楽しみながら、様々な「**工夫**」を考える人。

さて、みなさんは、どちらのタイプでしょうか？あるいは、どちらのタイプで生きていく方が自分にとって、さらに、周囲の人にとってプラスが生まれるのでしょうか？

もちろん、あとのタイプですよ。もっとも、1学期のみなさんの様子を見ている限り、今の笹中生は、あとのタイプの人ばかりだったと思いますし、先生方もそうだったと思います。いろんな場面で工夫をしてくれたと思います。感謝します。

そして、この工夫できる力こそが、「**生きる力**」 = 「**人間力**」だと思っています。私自身もICTは苦手ですし、今回、何人もの先生のサポートを得ながら、初めて【ZOOM】というものに挑戦しました。

ということで、明日9月1日からの2学期も、「**ピンチはチャンス**」「**不満大敵**」「**工夫あるのみ**」でコロナに負けないようにしましょう。最後に、まだまだ暑い日が続きますので、**「油断大敵」**です。

【PTA役員会・企画委員会 ~特別教室棟見学~】

9月4日(金) 18:00~PTA役員会、19:00~企画委員会を開催しました。今年度は、コロナのため、なかなか思うようにPTA活動が進まない中、月に1回の役員会・企画委員会は開催をしていただき、「笹中のため」「生徒のため」に、様々なご意見をいただき感謝いたします。今回は、例年実施している「オープンスクール」についてのご意見をいただきました。今後、これらの意見を参考にして、どのように設定するか検討していきます。

企画委員会終了後、時間のある役員・委員の方を、リニューアルした特別教室棟に案内しました。「**すごい明るい!**」「**こんなにきれいになってるの、笹中だけですか?**」「**私ももう一回中学校に通いたくなった**」・・・などの、感想をいただきました。

ICTを含め、環境は、どんどんよくなっていますので、次は、みなさんと先生方が一緒になって、中身の濃い学校生活(授業・行事・部活動など)を築いていく番ですね。

2 学期 始業式 9月 1日 ~「ZOOM」の利用②~

さて、昨日の終業式に続き、本日もZOOMを使って、校長室よりお届けします。まず、最初に、昨日の最後にお話したキーワードの確認です。覚えてますよね。「生きる力」=「人間力」「ピンチはチャンス」「不満大敵」「工夫あるのみ」「油断大敵」の5つです。

今日はこの中で「工夫あるのみ」をとりあげ、2学期のスローガンにしてほしいと思います。

具体的には、いつも言っている、中学校の基本は「授業」「行事」「生徒会活動」「部活動」「給食」などにおいて、自分たちでできる工夫はないのか考えてほしいと思います。

マスクの着用、手洗いの徹底、3密の回避、とりわけ換気などに気をつけながらどんな工夫をすればうまくいくのか、先生方も毎日色々考えてはいますが、みなさん自身も考えてみてください。

例えば、今、給食の準備・片付けは、かなり先生方にいただいています。何か生徒のみなさんでできることはないのかなあとか。例えば、色んな場所の消毒もかなり先生方にいただいています。何か生徒のみなさんでできることはないのかなあとか。例えば、生徒会活動として、withコロナとして、こんな取組ができるんじゃないかなあとか。

今、少し周りの人に色んなことをやってもらい過ぎではないだろうか?と、私は心配や不安があります。なぜなら、これから先、ずっとみなさんは、コロナと共存していかないとはいけません。社会に出れば、自分のことは自分でしていかなければ全てを助けてくれることはないと思います。

ぜひ、先生方と相談しながら、「自主」に向けた、笹中ならではの工夫ができる2学期にしてほしいと思います。

第33回 伊丹市中学校 英語暗唱・スピーチ大会



中学校英語暗唱・スピーチ大会

9月5日(土) 13:00~15:30、伊丹市立産業・情報センターにて開催されました。笹中からの参加者は次のみなさんです。コロナ対応の関係で、フェイスシールドをつけての発表となり、少しやりにくい面もあった中、3人とも素晴らしいパフォーマンスを披露してくれました。審査結果は、9月7日(月)に、市立伊丹高校より連絡があり、2年生の笹倉さんが、暗唱の部で「**優秀賞**」に輝きました。おめでとうございます。ご来場いただいた保護者の皆様、お忙しい中、本当にありがとうございました。

- 《暗唱の部》 2年生 笹倉 千裕さん 「Snow White」
- 《スピーチの部》 3年生 小西 未織さん 「The charm of a live performance」
- 《スピーチの部》 3年生 久米村 琉碧さん 「"Success and Failure"」



(市伊丹高 校長先生のあいさつ)

(小西さん)

(トロフィー)(久米村さん)